



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 アキレス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日景 一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統轄補佐 兼 経理本部長 (氏名) 河野 和晃 (TEL) 03-5338-8238  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	38,182	△6.4	△519	—	△45	—	154	△7.3
2023年3月期第2四半期	40,800	12.0	△102	—	489	△42.8	166	△67.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,108百万円(△46.3%) 2023年3月期第2四半期 2,064百万円(110.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	10.41	—
2023年3月期第2四半期	10.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	84,939	46,021	54.2	3,145.82
2023年3月期	86,220	46,206	53.6	3,058.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 46,021百万円 2023年3月期 46,206百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	82,500	△0.5	0	—	400	—	400	27.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	15,362,714株	2023年3月期	15,362,714株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	733,415株	2023年3月期	256,655株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	14,857,402株	2023年3月期2Q	15,543,226株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(収益認識関係) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は堅調に推移しましたが、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格・エネルギーコストの上昇や世界的なインフレ進行などがあり、欧州を中心に減速傾向となりました。また、中国も個人消費の低迷と不動産市場の悪化により減速が続きまし

た。日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減し回復が見られたものの、原材料価格・エネルギーコストの上昇や為替レート的大幅な変動など、先行き不透明な状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、価格改定を含め、売上高38,182百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。

営業損益は、原材料価格・エネルギーコストの上昇や円安による仕入れコスト上昇の影響等への対応として、生産性の向上や経費削減に努めましたが、519百万円の営業損失（前年同四半期は102百万円の営業損失）となりました。

経常損益は、営業外収益に為替差益等の計上がありました。45百万円の経常損失（前年同四半期は489百万円の経常利益）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に固定資産売却益の計上がありました。前年同四半期に比べ12百万円減少し、154百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社は主に企業向けの中間財と最終消費者向けの消費財を製造、販売しております。消費財がもつ当社のブランド力を中間財の拡販に有効活用していくためにも、今後、消費財への注力は重要との観点から、消費財・中間財に区分して記載しております。

## &lt;シューズ事業&gt;

## 【消費財】

衝撃吸収素材「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」、および世界有数のランニングシューズブランド「BROOKS（ブルックス）」は好調に推移し前年売上を上回りましたが、その他の商品群の回復が遅れ全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は4,991百万円と前年同四半期に比べ352百万円の減収（前年同四半期比6.6%減）となりました。

セグメント損失は、価格改定の効果を含む利益率の改善や、販売費の削減等により404百万円（前年同四半期は564百万円のセグメント損失）となりました。

## &lt;プラスチック事業&gt;

## 【中間財】

車輦内装用資材は、中国市場は苦戦しましたが、国内および北米市場においては自動車メーカーの生産が回復し、好調に推移しました。

フィルムは、国内外の流通在庫調整によりエレクトロニクス分野、医療・医薬分野が大きく低迷したほか、長引く欧州の景気低迷によりエクステリア用フィルムも伸び悩み、低調に推移しました。

建装資材は、市況の低迷が続く中、壁材の新柄投入効果によりほぼ前年並みとなりました。

価格改定を含めた中間財の売上高は18,441百万円と前年同四半期に比べ1,556百万円の減収（前年

同四半期比7.8%減)となりました。

#### 【消費財】

防災対策商品は、米国市場でポータが伸び悩み、低調に推移しました。

価格改定を含めた消費財の売上高は1,037百万円と前年同四半期に比べ283百万円の減収(前年同四半期比21.4%減)となりました。

プラスチック事業全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は19,478百万円と前年同四半期に比べ1,839百万円の減収(前年同四半期比8.6%減)となりました。

セグメント利益は、主にフィルム的大幅減収による粗利減の影響等により、前年同四半期に比べ821百万円減少の555百万円(前年同四半期比59.6%減)となりました。

#### <産業資材事業>

##### 【中間財】

ウレタンは、主な用途である車輛用および寝具用ともに回復基調に推移しました。

断熱資材は、戸建住宅向け、建築向けボード製品、スチレン製品が回復しましたが、全体としてはほぼ前年並みに推移しました。

工業資材は、半導体分野向けウエハー搬送用部材が国内、海外向けともに低調に推移しました。

価格改定を含めた中間財の売上高は13,230百万円と前年同四半期に比べ481百万円の減収(前年同四半期比3.5%減)となりました。

【その他】を含む産業資材事業全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は13,713百万円と前年同四半期に比べ425百万円の減収(前年同四半期比3.0%減)となりました。

セグメント利益は、価格改定の効果を含む利益率の改善等により、前年同四半期に比べ214百万円増加の634百万円(前年同四半期比50.9%増)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は84,939百万円で前連結会計年度末に比べ1,281百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は46,610百万円となり前連結会計年度末に比べ2,571百万円減少しました。これは主に、棚卸資産が680百万円増加しましたが、売掛金が1,554百万円、現金及び預金が1,127百万円、受取手形が697百万円減少したことによります。固定資産は38,328百万円となり前連結会計年度末に比べ1,289百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が1,042百万円、投資有価証券が320百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債は23,630百万円となり前連結会計年度末に比べ3,881百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,555百万円、短期借入金が700百万円、未払金が331百万円、電子記録債務が305百万円減少したことによります。固定負債は15,287百万円となり前連結会計年度末に比べ2,784百万円増加しました。これは主に、長期借入金が2,750百万円増加したことによります。

純資産の部は46,021百万円となり、前連結会計年度末に比べ185百万円減少しました。これは主に、為替換算調整勘定が842百万円増加しましたが、自己株式の取得により689百万円、利益剰余金が449百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は54.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は5,759百万円(前連結会計年度末比1,127百万円減少)となりました。

営業活動の結果、減少した資金は324百万円(前年同四半期比279百万円支出増)となりました。これは主に、売上債権の減少2,287百万円、減価償却費1,570百万円、税金等調整前四半期純利益384百万円等の増加要因と、仕入債務の減少3,053百万円、その他の負債の減少738百万円、棚卸資産の増加432百万円、固定資産除売却損益430百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動の結果、減少した資金は1,750百万円(前年同四半期比1,043百万円支出減)となりました。これは主に、固定資産の売却による収入488百万円の増加要因と、固定資産の取得による支出2,137百万円等の減少要因によるものであります。

財務活動の結果、増加した資金は756百万円(前年同四半期比3,494百万円収入減)となりました。これは主に、短期借入金の純減額700百万円、自己株式の取得による支出689百万円、配当金の支払額604百万円の減少要因と、長期借入れによる収入2,750百万円の増加要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年8月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,887	5,760
受取手形	2,909	2,212
電子記録債権	5,884	6,124
売掛金	14,909	13,354
商品及び製品	10,913	11,138
仕掛品	1,915	2,203
原材料及び貯蔵品	3,954	4,121
その他	1,841	1,743
貸倒引当金	△34	△48
流動資産合計	49,181	46,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,685	12,125
機械装置及び運搬具（純額）	7,092	7,720
土地	4,166	4,169
建設仮勘定	1,799	1,708
その他（純額）	1,427	1,489
有形固定資産合計	26,171	27,214
無形固定資産		
	393	414
投資その他の資産		
投資有価証券	2,599	2,920
退職給付に係る資産	5,299	5,174
繰延税金資産	1,757	1,768
その他	869	888
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	10,474	10,700
固定資産合計	37,039	38,328
資産合計	86,220	84,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,065	11,509
電子記録債務	3,353	3,048
短期借入金	3,600	2,900
未払金	2,266	1,935
未払法人税等	244	252
その他	3,982	3,984
流動負債合計	27,512	23,630
固定負債		
長期借入金	7,500	10,250
繰延税金負債	502	450
退職給付に係る負債	4,056	4,120
資産除去債務	369	370
P C B廃棄物処理引当金	38	23
その他	34	71
固定負債合計	12,502	15,287
負債合計	40,014	38,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	4,097	4,097
利益剰余金	23,073	22,624
自己株式	△373	△1,062
株主資本合計	41,439	40,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281	477
繰延ヘッジ損益	△66	29
為替換算調整勘定	2,279	3,121
退職給付に係る調整累計額	2,271	2,091
その他の包括利益累計額合計	4,766	5,720
純資産合計	46,206	46,021
負債純資産合計	86,220	84,939



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	40,800	38,182
売上原価	33,090	31,089
売上総利益	7,709	7,093
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	3,117	2,853
広告宣伝費及び販売促進費	393	396
貸倒引当金繰入額	△24	14
給料手当及び福利費	2,813	2,704
退職給付費用	3	3
旅費交通費及び通信費	214	244
減価償却費	205	277
その他	1,088	1,118
販売費及び一般管理費合計	7,812	7,612
営業損失(△)	△102	△519
営業外収益		
受取利息	11	3
受取配当金	21	19
持分法による投資利益	57	79
為替差益	373	306
不動産賃貸料	45	42
その他	134	98
営業外収益合計	644	549
営業外費用		
支払利息	19	33
支払補償費	8	18
その他	24	23
営業外費用合計	52	75
経常利益又は経常損失(△)	489	△45
特別利益		
固定資産売却益	5	486
投資有価証券売却益	4	-
特別利益合計	9	486
特別損失		
固定資産除却損	51	56
特別損失合計	51	56
税金等調整前四半期純利益	447	384
法人税、住民税及び事業税	212	303
法人税等調整額	68	△73
法人税等合計	280	229
四半期純利益	166	154
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	166	154

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	166	154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	195
繰延ヘッジ損益	136	95
為替換算調整勘定	1,802	763
退職給付に係る調整額	△194	△180
持分法適用会社に対する持分相当額	184	79
その他の包括利益合計	1,897	953
四半期包括利益	2,064	1,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,064	1,108
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	447	384
減価償却費	1,581	1,570
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	14
受取利息及び受取配当金	△33	△23
支払利息	19	33
為替差損益 (△は益)	△102	△195
持分法による投資損益 (△は益)	△57	△79
固定資産除売却損益 (△は益)	45	△430
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△434	2,287
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,782	△432
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,311	△3,053
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△353	174
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	43	64
その他の資産の増減額 (△は増加)	79	145
その他の負債の増減額 (△は減少)	△550	△738
小計	186	△278
利息及び配当金の受取額	283	203
利息の支払額	△20	△30
保険金の受取額	4	-
法人税等の支払額	△497	△218
営業活動によるキャッシュ・フロー	△44	△324
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	1	△0
固定資産の取得による支出	△2,809	△2,137
固定資産の売却による収入	6	488
投資有価証券の取得による支出	△1	△101
投資有価証券の売却による収入	10	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,793	△1,750
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700	△700
長期借入れによる収入	4,500	2,750
自己株式の取得による支出	△322	△689
配当金の支払額	△625	△604
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,251	756
現金及び現金同等物に係る換算差額	557	190
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,970	△1,127
現金及び現金同等物の期首残高	7,588	6,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,559	5,759

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	5,343	21,318	14,138	40,800	—	40,800
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	49	303	353	△353	—
計	5,343	21,367	14,442	41,153	△353	40,800
セグメント利益又は損失 (△)	△564	1,376	420	1,233	△1,335	△102

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,335百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,991	19,478	13,713	38,182	—	38,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	34	412	447	△447	—
計	4,991	19,513	14,125	38,630	△447	38,182
セグメント利益又は損失 (△)	△404	555	634	786	△1,305	△519

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,305百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	シューズ事業	プラスチック事業	産業資材事業	
消費財	5,343	1,320	—	6,664
中間財	—	19,997	13,711	33,709
その他	—	—	426	426
顧客との契約から生じる収益	5,343	21,318	14,138	40,800
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,343	21,318	14,138	40,800

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	シューズ事業	プラスチック事業	産業資材事業	
消費財	4,991	1,037	—	6,028
中間財	—	18,441	13,230	31,671
その他	—	—	482	482
顧客との契約から生じる収益	4,991	19,478	13,713	38,182
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,991	19,478	13,713	38,182